

平成26年度 きょうと農商工連携応援ファンド支援事業 <採択事業 13件>

番号	代表	申請者名 上段: 農林漁業者 下段: 中小企業者	地区	テーマ名・内容	備考
1	○	新井 遼	京都 乙訓	◆あらい農園 身土不二物語 —二十四節気 季節彩る野菜の物語—	若手
		蔵立 悦子	京都 乙訓	古来から伝わる立春や冬至などで知られる「二十四節気」に基づき、農作物の栽培からレシピの開発、メニュー提案までを共同で企画立案し、「新井農園 身土不二物語の旬野菜」としてブランディングする。	
2		田井水産有限会社 代表取締役 丸山 好	中丹	◆京634式舞鶴の魚をブランド化するプロモーション事業	水産
	○	株式会社花洛 代表取締役 中井 博一	京都 乙訓	「京都桂川」大規模商業施設内に開店予定の「京都舞鶴の魚の販売ショップ」において、地元京都の新鮮でおいしい魚を獲れたその日のうちに販売できる仕組みを作るとともに、魚離れ世代の魚に対する意識を劇的にかえるプロモーション戦略や市場開発を中心に、ICTを活用した川上と川下を直接つなぐ情報伝達による新しいロジスティックを開発する。	
3	○	中村農園 中村 尚司	京都 乙訓	◆京都嵯峨野産 ベっぴん甘恋トマト 赤と青の加工品の展開	
		株式会社京都紀翔 代表取締役 小林 清治	山城	水分のコントロールができる樽栽培により高糖度でコクのあるトマトを生産する農家が、トマト栽培の終了時に発生する色づいていない青いトマトを利用して、パスタソースやジャム等を開発し、「京都嵯峨野ベっぴん甘恋トマト」シリーズとして販売する。	
4		有限会社京都丹波牧場 代表取締役 平井 一三	南丹	◆ドライエイジング「熟成」技法で仕上げる「京都熟成ビーフ」	畜産
	○	株式会社T・Sコーポレーション 代表取締役 徳山 哲大	京都 乙訓	京都丹波牧場で肥育された黒毛和牛を使い、骨付きの大きな部位のまま、温度と湿度を管理し、約40日間熟成することにより、アミノ酸類が増え、酵素の働きでやわらかく、芳醇な香りがする熟成肉を開発し、販売する。	
5	○	中嶋農園 代表 中嶋 直己	京都 乙訓	◆「祝」と「武士米」のコラボ:「武士の酒・武士の水」で みんなで乾杯!	若手
		有限会社京フーズ 代表取締役 関 佳彦	京都 乙訓	京都府で育成された酒造好適米「祝」と黒色の古代米である「武士米」を用いて、ロゼタイプの日本酒(武士の酒)と、地元の京都すばる高校も巻き込んでノンアルコールの醸造飲料(武士の水)を開発するとともに、お酒を飲む人にも飲まない人にも提供できるようにする。また、新感覚の日本酒とそれに合う惣菜やサービスの試作開発も併せて行う。	
6	○	亀井 芳郎	京都 乙訓	◆京都ブランドのポップコーンの開発・販売	
		アグループ株式会社 吉田 雄策	京都 乙訓	国内で流通量の少ない、農薬や化学肥料を使用せずに栽培した「爆裂種とうもろこし」を原料として、京都らしいフレーバーのポップコーンを開発し、販売する。	
7		桑木 康男	南丹	◆就農体験・防災訓練農場の開設で里山から元気を発信!	
	○	株式会社京のちから 代表取締役 石井 雄一郎	京都 乙訓	「京都モデルファーム活用協定」(府知事、京丹波町長、大倉区長、京のちから)に基づき、桑木氏の指導のもとに耕作放棄地の活用して農作業の手伝いをする中、地元からの規模拡大の要望を受け、体験農場の設置や「防災かまど」を用いた非常時炊き出し料理体験を行うことにより、幼稚園児~社会人の企業研修までが活用できる場を創出する。	
8	○	堀井農園 堀井 高志	山城	◆京都の梅・城州白を使用したスイーツの商品開発	若手
		株式会社京都はんなり本舗 代表取締役 伴 康夫	京都 乙訓	城陽の青谷梅林にしかない、香りの良い梅の品種(城州白)を使用したスイーツを開発する。また、開発された商品は中小企業者のみならず、農業者でも製造できるように技術、情報等を共有し、製造・販売する体制とすることにより農業者のメリットを引き出す。	

番号	代表	申請者名 上段:農林漁業者 下段:中小企業者	地区	テーマ名・内容	備考
9		森田農園 代表 森田 良彦	京都 乙訓	◆高機能地場食材「京白丹波豆」を活用したお土産スイーツの開発と販路開拓	
	○	むしやしな 代表 鶴野友紀子	京都 乙訓	新丹波黒(黒大豆)から育種された白大豆「京白丹波」の特性を活かし、ヘルシー、カルチャー、エコロジーの観点からスイーツとおから茶を開発し、国内外に販売する。	
10		株式会社あしだ 代表取締役 芦田 竜一	南丹	◆山の匠と製材所が考える京都杉を利用したフローリング開発	林業
	○	有限会社上尾製材所 取締役 上尾 博	山城	京都府産木材の特徴(デザイン性、品質)を前面にだし、今日の建築にマッチした様々な生活空間を創造し、快適なサービスを提供できるフローリングを開発する。	
11		森 隆治	南丹	◆チョロギを使用した日本初の認知症に効果のある薬草酒の製造販売事業	
	○	大石酒造株式会社 代表取締役 大石 博司	南丹	チョロギに含まれる認知症予防に有効な成分に着目し、「認知症予防のための薬草酒(チョロギ酒)」を開発、販売する。	
12		一志アグリシステム合同会社 代表 国定 一博	南丹	◆亀岡産・食用ほうずきを使った商品化事業	
	○	株式会社グロウティ 代表取締役 安田 哲郎 代表取締役 谷口 年男	南丹	独特の酸味と甘味を持ち合わせた食用ほおずき素材にしてドレッシング、プリン、大福、ゼリー、ムース、アイス、ジェラート、パン、ジャムなど、初夏から晩秋の季節に合わせて多品目の商品開発を行う。	
13		株式会社丹後岩木ファーム 代表取締役 岡田 美晴	丹後	◆丹後の焼酎ブランド化及び丹後地方の農業の安定化・発展	
	○	株式会社Re-TANGO 代表取締役 東 孝亮	丹後	丹後米を使った焼酎を開発し、若者や女性等を対象に販売する。	
計 (採択事業 13件)					